

2016年度 環境活動レポート

実施年月 2016年8月～2017年7月

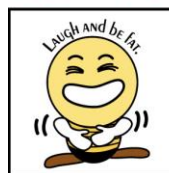
作成日 2017年11月30日

修正日 2017年12月8日

年間号



オリジナルパソコン・周辺機器・製造・販売・サポート・修理



DOS/V Proショップ

有限
会社 笑栄システム

有限会社 笑栄システム

環 境 方 針

弊社はオリジナルパソコンの製造・販売・修理・サポートを行うに当たり、ものづくりの原点を見直し、製造者責任として自社製品に対して、「製造過程でゴミを作らない」「製造過程でゴミを出さない」「製品の再利用」の3原則を基本に、CO2削減の為の環境保全活動に自主的・積極的に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や定めた事を順守し、全員参加で取組を行います。
2. 以下について、環境方針を基に具体的な環境目標を定め、実施計画を立て、継続的に改善に努めます。
 - ① 地球温暖化対策の為、電力・灯油・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素（CO2）の削減
 - ② 水資源の節水
 - ③ 電力の一部分に、クリーンエネルギー使用（太陽光発電）
 - ④ 使用済みパソコンをリサイクル・リユースPCとして再生販売するなど、弊社独自のリサイクルシステムの導入（廃棄物の排出抑制・リサイクル）
 - ⑤ 環境に配慮した製品の開発・販売促進
 - ⑥ 原料及び事務用品のグリーン購入
 - ⑦ 地域での環境活動へ積極的に参加これらについて、環境目標・計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。
3. 当社で働く全従業員にこの環境方針を周知します。

制定日 2006年12月1日 改定日 2010年 7月1日

有限会社 笑栄システム 代表取締役 向山 敏 晴

～対象範囲～

- 認証・登録番号 0002263
- 認証・登録事業者 有限会社 笑栄システム
- 認証・登録の対象活動範囲 パソコンの製造・販売・修理・サポート、ネットSHOPでの販売
- 関連事業所 有限会社 笑栄情報電子機器販売
- レポート対象期間 2016年8月 ～ 2017年7月
- レポート発行日 2017年11月30日 / 修正日 2017年12月4日

～登録事業所の概要～

■ 事業者名・所在地及び代表者名

<事業社名>

有限会社 笑栄システム ※関連事業所 有限会社 笑栄情報電子機器販売

<所在地>

長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪 14775-4 ※有限会社 笑栄情報電子機器販売同じ

<代表者>

代表取締役社長 向山 敏晴

■ 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 向山 敏晴

EA21 環境事務局 : 向山 実恵

} TEL : 0265-70-1027

FAX : 0265-70-1028



■ 事業の規模

◆ 創立	1997年1月1日	◆ 年間パソコン販売台数	約120台
◆ 資本金	300万円	◆ 年間破棄・分解（パソコン・その他部品）台数	約120台
◆ 従業員数	6名（外注・出向社員含む）	◆ 年間パソコン修理台数	約450台
◆ 工場延べ床面積	165㎡（有限会社 笑栄情報電子機器販売面積含む）		

■ 事業内容

- ◆ オリジナルパソコン周辺機器の製造・販売・修理 及び 他社パソコン（各種メーカー）修理・販売 等
- ◆ オリジナルソフト（ワープロ化ソフト等）作成・販売 及び ホームページ・カートシステムの作成・販売
- ◆ パーツ・周辺機器等の販売 及び Webショップにて周辺機器・雑貨等の販売（有限会社 笑栄情報電子機器販売 事業）
- ◆ サポート・メンテナンス・ネットワーク・講習 など
- ◆ 中古・リサイクル品販売（長野県古物商許可第481230200019号）
- ◆ エコ事業（太陽光製品等販売）



↑ 修理風景



データ復旧中 ↑



WEBショップ ↑

～環境経営システム組織図～

<組織図>

認証・登録の適用範囲

住所：長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪
14775-4

関連事業所：(有)笑栄情報電子機器販売
活動：パソコンの製造・販売・修理・サ
ポート(Web ショップにて雑貨等の販売)

代表者・環境管理責任者・部門長兼務
社長

EA21 環境事務局

全従業員

有限会社 笑栄情報電子機器販売

役割・責任・権限

代表者 (社長)

- ・環境管理責任者
- ・部門長兼務

- ・環境経営に関する統括責任
- ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用を用意
- ・環境管理責任者を任命
- ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
- ・環境目標の設定を承認
- ・全体の評価と見直しを実施
- ・環境経営システムを構築し、実施し、管理
- ・法規制等の要求事項登録簿を承認
- ・環境活動実施計画書を承認

EA21 環境事務局

- ・環境管理責任者、EA21 推進会議の事務局
- ・環境目標・環境活動実施計画書原案の作成
- ・「環境関連法規等チェックリスト」の作成
- ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
- ・環境経営システムの実施
- ・環境方針の周知
- ・従業員に対する教育訓練の実施
- ・関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告
- ・特定された項目の手順書作成及び運用管理
- ・特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録
- ・問題点の発見、是正、予防処置
- ・環境活動実施計画の実績集計

全従業員
有限会社 笑栄情
報電子機器販売

- ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
- ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

～環境目標～

2016 年度環境目標は以下のように設定し、取り組みしました。

- 二酸化炭素排出量 : 基準値 現状維持管理 (基準値より 1% 削減目標)
- 廃棄物排出量 : 基準値 現状維持管理 (基準値より 1% 削減目標)
- 総排水量 : 基準値 現状維持管理 (基準値より 1% 削減目標)
- 原料及び事務用品のグリーン購入 : 基準値 現状維持管理 (年間購入比率 28%目標)
- 環境に配慮した製品開発・販売・促進 : 月 4 件以上

■ 主な環境負荷の状況

項目	単位	2014 年度
二酸化炭素排出量	Kg-CO ₂ /年	11,518
廃棄物排出量	トン/年	0.6706
総排水量	m ³ /年	211
原料及び事務用品のグリーン購入促進	%/年	28

■ 年度毎の環境目標

削減項目	基準値 (基準年)	2016 年度	2017 年度	2018 年度
		年度目標	年度目標	年度目標
二酸化炭素の削減	11,518Kg-CO ₂ (2014 年度)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)
廃棄物の削減 (一般・産業)	0.6706t (2014 年度)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)
省資源 (水道)	211 m ³ (2014 年度)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)	現状維持管理 (基準値の 1%削減目標)
原料及び事務用品の グリーン購入促進	購入比率約 28% (2014 年度)	現状維持管理	現状維持管理	現状維持管理
環境に配慮した製品 開発・販売・促進	基準値 無 (2014 年度)	月 4 件以上	月 5 件以上	月 5 件以上

～環境活動計画～

■ 二酸化炭素の削減

- 太陽光による発電 ○エアコン・ヒーターの調整
- ガソリン・灯油の削減 ○こまめな節電・電球交換

■ 廃棄物の削減

- 古紙・ダンボールを回収へ回す（再資源）
- ミスコピーの削減 ○梱包材の再利用○裏紙の使用
- 詰替・替えタイプに変更
- リユース・リサイクルパソコンとして、
使用済み製品を再生販売する
- 使用済みコンピュータ本体又は、部品で再利用
出来る物は有効的に再利用（販売）する

■ 省資源（水道）

- 節水呼びかけ ○地下水使用
- トイレタンクの水量調節 ○節水弁等取り付け

■ グリーン購入

- 環境物品を選ぶ際に環境ラベルを確認し、
グリーン購入対象商品を購入する。
- 消耗品は、詰替えがあれば詰替え用を購入。

■ 商品の環境への配慮

- 製品買換え時の、製品引取り及び代理処分の実施
- 製品の小型化の実施
- 環境に優しい製品作り及び販売
- 環境に配慮した製品への提案や販売、それに伴う電力削減

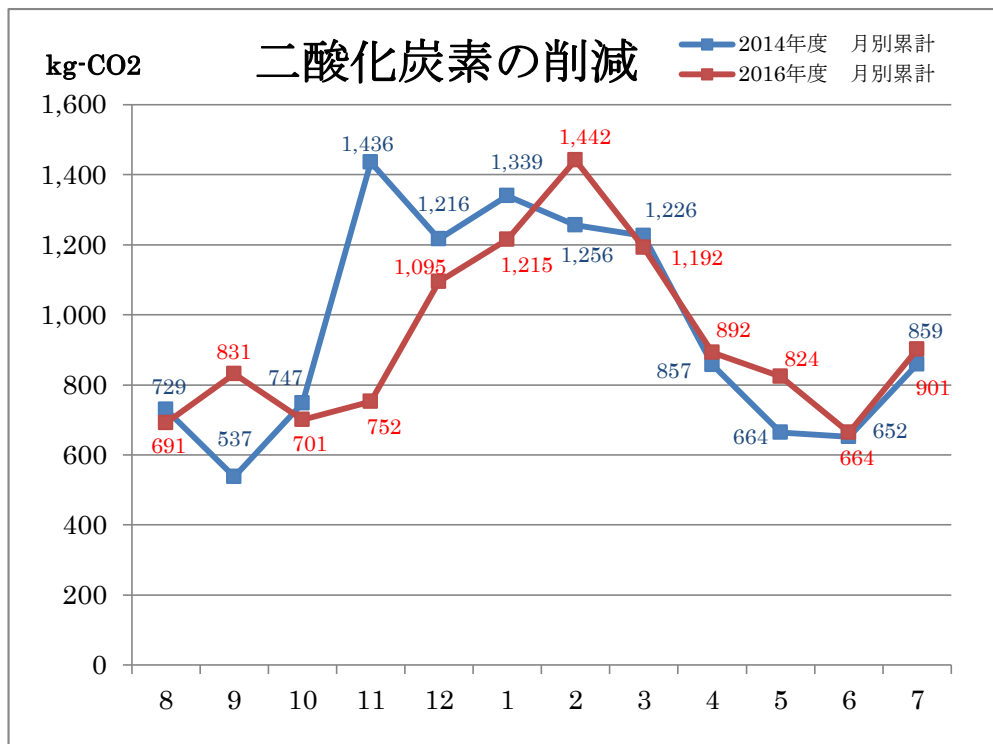
～環境活動計画の実施内容～

■ 環境目標達成状況

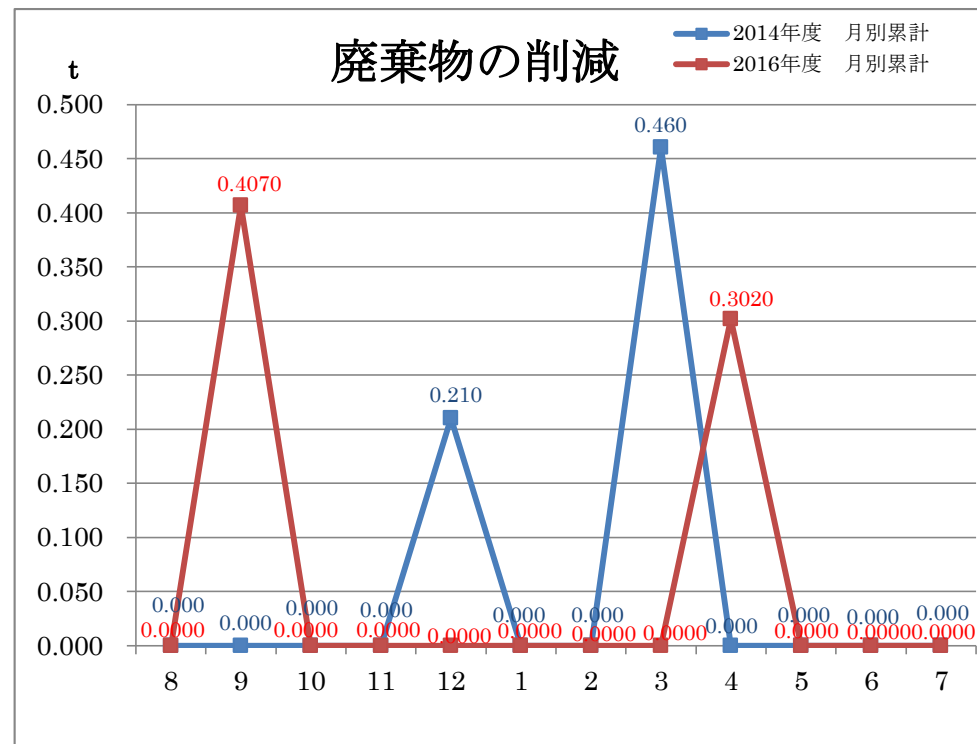
2016年中部電力
CO₂電力換算排出係数 0.497 (kg-CO₂/kWh)

2016年8月～2017年7月 目標と実績一覧		
削減項目	基準値 (基準年)	2016年8月～2017年7月間の目標 (最終合計目標値)
		2016年8月～2017年7月間の実績
二酸化炭素の削減	11,518 Kg-CO ₂ (2014年度)	11,403Kg-CO ₂
		11,200Kg-CO ₂
廃棄物の削減 (一般・産業)	0.6706t (2014年度)	0.6639t
		0.709t
省資源 (水道)	211m ³ (2014年度)	208.9m ³
		180m ³
原料及び 事務用品の グリーン購入促進	およそ28% (2014年度)	全体購入比率の 28%
		全体購入比率の 43.5%
環境に配慮した製品 開発・販売・促進	月2件以上 (2014年度)	月 4件以上
		月平均 32件

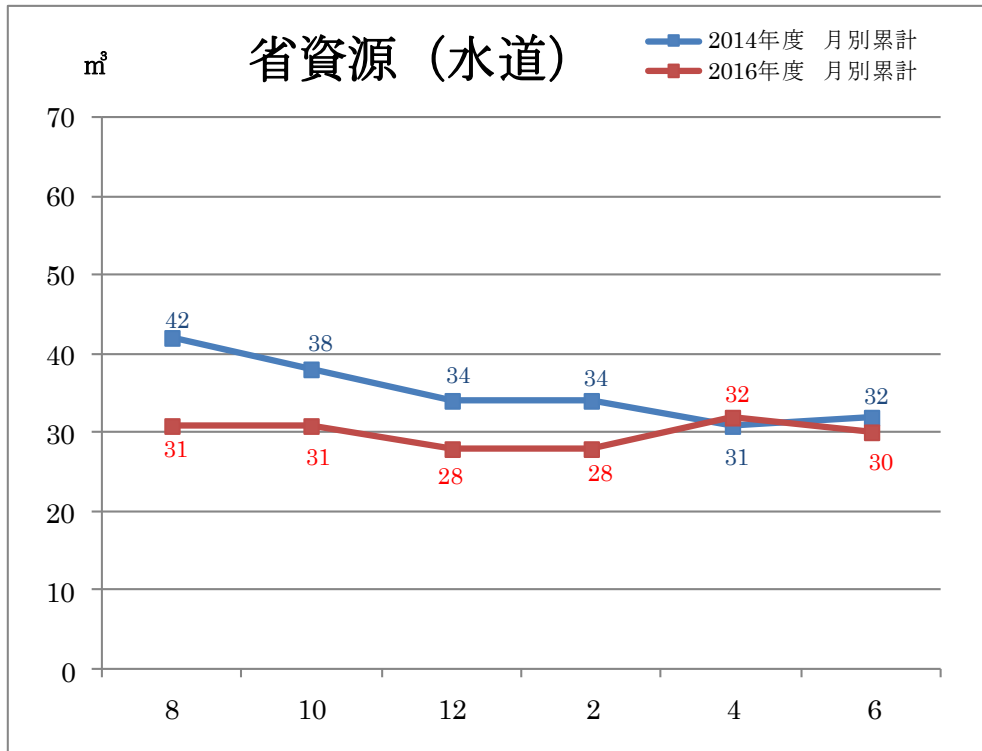
二酸化炭素排出量 年度別グラフ



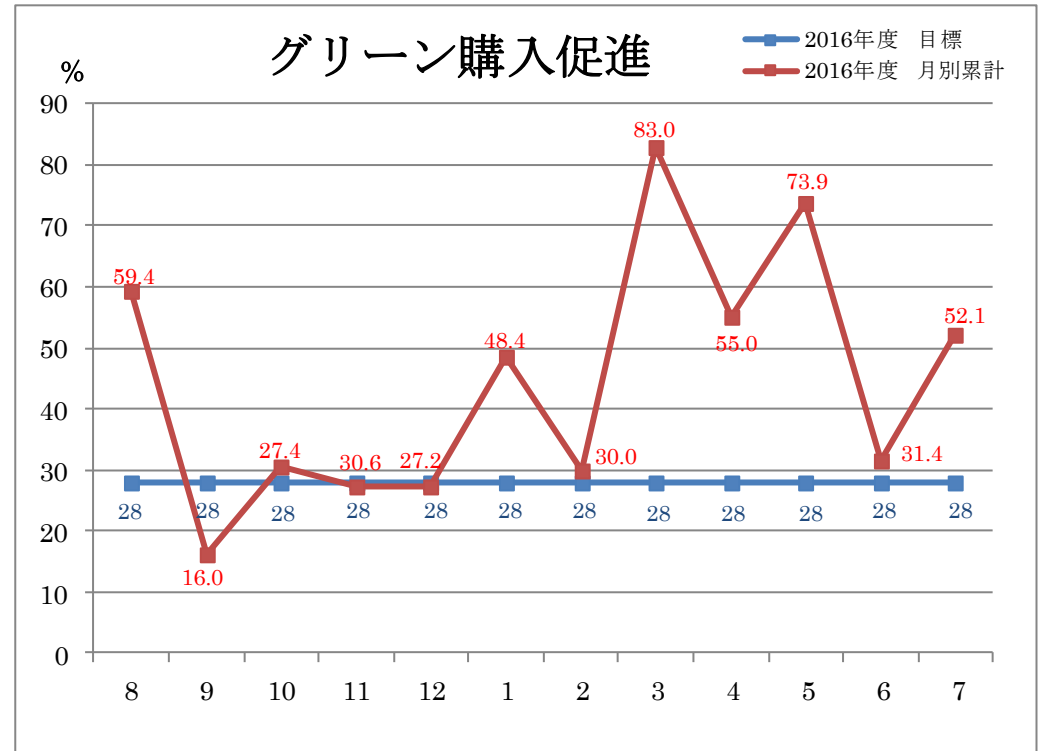
廃棄物排出量 年度別グラフ



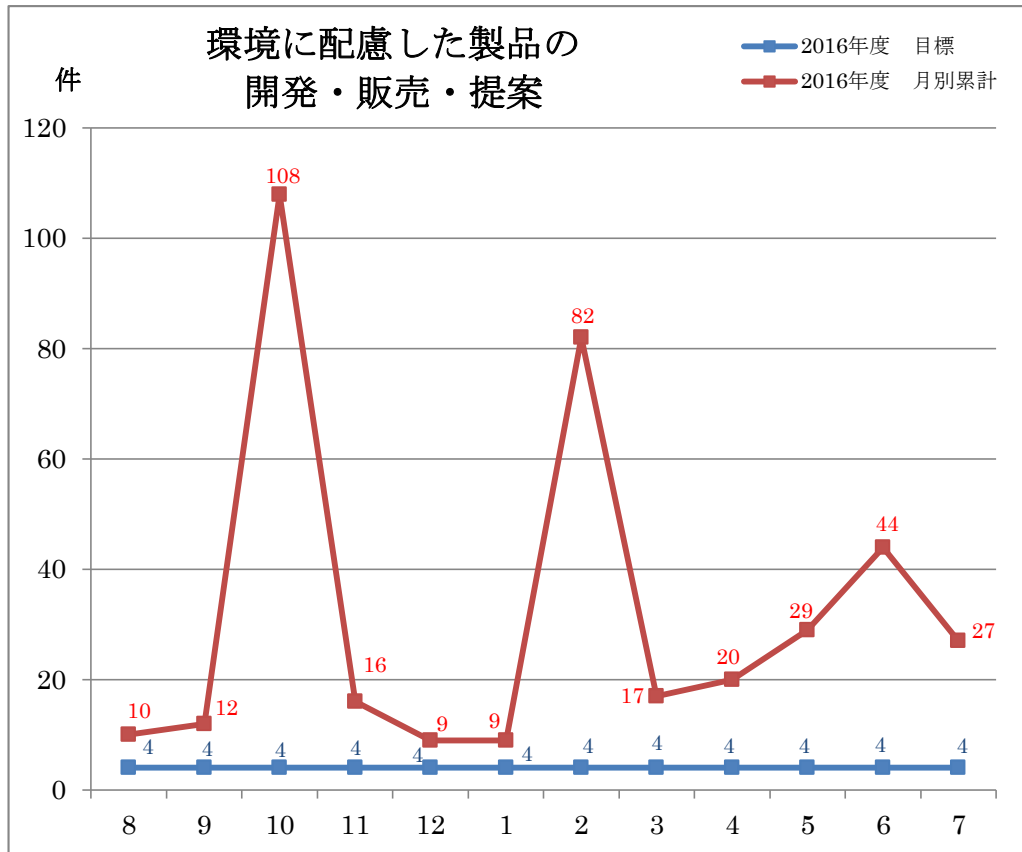
省資源（水道）の削減 年度別グラフ



グリーン購入 年度別グラフ



環境に配慮した製品の開発・販売・促進 年度別グラフ



■内訳

- ・ 環境対策商品の提案 195 件月
(内展示会 2 回/10 月・2 月)
- ・ 環境対策商品の販売 188 台
- ・ 環境対策商品の開発 12 台 (内)

■ 目標達成への取り組み・評価・反省点 など

取り組み計画	達成状況	評価 (結果と次年度の取組内容)
<p>二酸化炭素の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ○太陽光の活用 ○こまめな節電 (パソコン・照明・換気扇・エアコン) ○ガソリン・灯油の削減 ○省電力商品開発・提案 	<p>目標: 11,403Kg- CO₂ (2014年度比 Δ1%)</p> <p>実績: 11,200Kg- CO₂</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>目標比: Δ98.2%(実績/目標)</p>	<p>結果: ○</p> <p>本年度も、例年同様社員の協力もあり、削減する事が出来た。ヒーターからエアコンを主に温度調整の手段として活用してきたので、灯油の使用は少なくなったが、エアコンの電力自体が増えているので、今後も、継続して確認を行って行く。</p>
<p>廃棄物の削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ○裏紙の使用 (再印刷・メモ用紙 等) ○使用済みコンピュータ本体又は、部品で再利用出来る物は有効的に再利用する ○分別し、資源となるものは極力回収に回す ○リユース・リサイクルパソコンとして、使用済みの製品を再生販売する事で少なくする 	<p>目標: 0.6639t (2014年度比 Δ1%)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>実績: 0.709t</p> <p>目標比: Δ106.7%(実績/目標)</p>	<p>結果: ×</p> <p>ダンボール・古紙については、例年通りリサイクル出来ているが、仕入の増及び処分が多く、廃棄量を減らす事は出来なかった。尚、分解・分別・リサイクルについては、例年通り行うことにより、適切に処理できた。</p>
<p>省資源 (水道)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水道水削減目標説明 ○節水呼びかけ ○地下水利用による植木の水やり ○節水弁の取り付け 	<p>目標: 208.9 m³ (2014年度比 Δ1%)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>実績: 180 m³</p> <p>目標比: Δ86.1%(実績/目標)</p>	<p>結果: ◎</p> <p>例年と同じく、月により使用量が多い時もあったが、年間を通して使用量を減らす事ができた。節水を心がける等の効果が出た。</p> <p>次年度も、地下水を使用するなどして、引き続き目標に取り組む。</p>
<p>原料及び事務用品のグリーン購入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消耗品は、詰替えがあれば詰替え用を購入 ○グリーンラベル製品等の積極購入 	<p>目標: 全体購入比率 28%</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>実績: 全体購入比率 43.5%</p> <p>目標比: 13.5%UP(実績/目標)</p>	<p>結果: ○</p> <p>本年も、詰め替え品や交換・再生品に加えグリーンラベル製品等の積極的な購入やエコ商品を優先的になどの購入を優先した為、年間での購入比率目標達成した。逆にクリーナー等の対応外の物も多く、環境対策品が多く発売される事を願う。引き続き目標に取り組む。</p>
<p>環境に配慮した製品の開発・販売・促進・提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ○LED や太陽光商品などの提案販売 ○ECO モードなど、環境に配慮した機能を搭載した商品の販売促進や、製品の省電力・小型化の実施 	<p>目標: 月 4 件以上</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>実績: 月平均 32 件</p>	<p>結果: ○</p> <p>昨年同様、展示会での提案数を行い、貴重な意見の収集は出来たが、今年度も開発や自社製品の販売については、業績良い影響が出たとは言えず、方向性を考えると共に、提案や販売促進を行っていく。</p>

～環境関連法規制等の順守状況～

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

法律	順守事項	該当する設備・項目	確認者	確認日	順守状況
廃棄物処理法	・一般廃棄物については委託業者へ分別排出	資源プラスチック・古紙・缶・ビン・ペットボトル	向山 実恵	2017/11/20	○
	・委託業者との契約 ・委託業者の許認可証の保管 ・保管基準 60cm×60cm 以上表示／飛散・浸透防止、衛生管理 ・マニフェスト発行 B2, D, E 票の受取確認（90日、180日以内）と保管（5年間） ・前年度の管理表（マニフェスト）の交付状況の県知事への報告	廃プラ 金属くず アルミ 混合ごみ 可燃物 その他	向山 実恵	2017/11/20	○
	・帳簿の管理・保存		向山 実恵	2017/11/20	○
	・処理施設の定期検査（努力義務）		向山 実恵	2017/11/20	△
	・処理困難通知と、通知を受けた際の措置 （適正な処理が困難になった場合の対策）	廃棄物全般	向山 実恵	2017/11/20	○
水質汚濁防止法	・敷地内にある灯油タンクから、灯油が地下に漏れるのを防ぐ	灯油	向山 実恵	2017/11/20	○
古物営業法	・一度使用された物品で、買取・引取した古物（中古パソコン等）の売買、営業（リサイクルした商品も同じ）	パソコン パソコン周辺機器 等	向山 実恵	2017/11/20	○
資源有効利用促進法 （リサイクル法）	・自社で製造等したパソコン・周辺機器等の自主回収及び、再資源化	パソコン パソコン周辺機器 等	向山 実恵	2017/11/20	○
グリーン購入法	・環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達を推進 ・当該物品の購入者等に対し、当該物品等に 係る環境への負荷の把握の為必要な情報を適切な方法により提供するよう努める	パソコン パソコン周辺機器 パーツ類 事務用品 等	向山 実恵	2017/11/20	○

定期的に環境管理責任者 向山敏晴が中心となり、環境関連法規制等の順守状況を定期評価した結果、現在及び過去3年間違反等の問題は無い事を確認致しました。

また、同様に、関係機関及び近隣住民からの指摘、苦情、提訴等は一切ありませんでした。

以上

～代表者による全体の評価と見直し記録～

見直しに必要な情報		変更の必要性の有無・指示事項
(環境管理責任者の報告)	(環境管理責任者のコメント・提案)	(代表者)
[取組状況の評価結果] ①環境関連法規制等の順守状況 定期評価を実施した結果、順守されている。 ②是正及び予防処置の状況	[環境方針] 本年度は、開発依頼のあったマイコン製品及びAI製品の開発に重点を置いた為、小型パソコンの開発・販売等の活動は見送った。環境に配慮した製品はコストが高くなり、購入を踏み止まる客が多く、販売をどうするのか課題が多い。	[環境方針] 展示会等での提案・売込及び意見交換を積極的に行うと共に、コスト面と性能面が顧客の要望にあう製品が可能なのか、計画を練る必要があるのでは、課題として取り組みましょう。
	変更の必要性： 有 (無)	
[目標・環境活動計画の達成状況] 温室効果ガスの削減 ○ 廃棄物の削減 × 節水 ◎ (昨年度より増) グリーン購入 ○ 環境に配慮した製品の開発・提案・促進・販売 × (提案・促進のみ◎)	[目標・環境活動計画] 本年度は、社員共々、電力及び灯油の使用状況確認・リサイクル、節水を心がけた為、廃棄物以外は削減目標を達成できた。例年通りとなるが、業務増加に伴う廃棄品等の増加があり、廃棄量の削減は出来なかったが、リサイクルは例年通り出来た。	[目標・環境活動計画] 温室効果ガス・資源等は今後も維持が出来るよう、こまめに確認しましょう。廃棄物に関しては、増える事は仕方ないですが、本年のように出来るだけ再生出来るよう取り組んでください。
	変更の必要性： 有 (無)	
[周囲の変化状況] ①外部コミュニケーション記録より 特に苦情等なし (要請等は有り) ②環境関連法規制等の動向他	[その他の環境経営システムの各要素] 灯油削減や電気の消し忘れ、空調機能の調整等徹底する。 引き続き、中古 PC 再生プログラムの実施、省資源 PC の開発・提案・販売を進める。	[環境経営システムの各要素] 昨年より、再生プログラム事業にて多くのパソコンの再生ができ、また、例年より多く省電力 PC の導入が出来ました。来年度も成果を上げていきましょう。
	変更の必要性： 有 (無)	